〈2019年9月・2020年4月入学〉

早稲田大学大学院
環境・エネルギー研究科

修士課程　一般入学試験要項
（飛び級入学試験を含む）

個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

目　次

１．募集人員 1
２．出願資格 1
３．入学検定料 2
４．入学検定料の支払い方法 2
５．入学検定料の返還について 5
６．出願 5
　1）出願期間 5
　2）出願書類提出方法 5
　3）出願に必要な書類 5
　4）出願書類偽造についての注意事項 7
７．受験・就学上の配慮 8
８．受験票発送 8
９．選考 8
　1）選考日程 8
　2）選考方法 8
　3)試験会場 8
　4）受験上の注意 8
１０．不正行為について 9
１１．免責事項 9
１２．合格発表 9
　1）日程 9
　2）方法 9
１３．入学手続 10
１４．入学金免除 10
１５．入学辞退にともなう学費返還 10
１６．外在留資格「留学」の取得について 10
１７．学費・諸会費 12
１８．奨学金 12
１９．連絡先 12

研究指導および担当教員 13

試験場案内 15

1. 募集人員

2019年9月入学　　若干名（※「飛び級入学」を含む）
2020年4月入学　　50名（定員）（※「飛び級入学」を含む）
※大学に 3 年以上在学する者に係わる特別選抜制度

募集する研究指導は以下のとおりです。

研究指導	指導教員	授与学位
環境調和システム機器研究	教授　関谷　弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教授　友成　真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教授　中西　要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教授　草鹿　仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授　中垣　隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授　納富　信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授　紙屋　雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授　小野田　弘士	工学・学術
環境・エンジン制御研究	客員教授　福間　隆雄 教授　草鹿　仁	工学

2. 出願資格

次の①～⑥いずれかの要件を満たす者。ただし、各要件とも、2019年9月入学志願者は2019年9月20日まで、2020年4月入学志願者は2020年3月末日までの卒業見込者を含みます。

①大学を卒業した者、および卒業見込みの者。
②大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および授与される見込みのある者。
③外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者、および修了見込みの者。
④文部科学大臣の指定した者。
⑤大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了、または修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。（飛び級入試対象者：注1）
⑥当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達する者。

注1：飛び級入試
以下の全条件に該当する者が対象者です。
- 出願時に4年制大学の3年次に在学中の者（休学中を除く）
- 2年終了時に卒業必要単位の1/2以上を修得し、修得単位の2/3以上が最上級（100点満点中90点以上）の評価であり、かつ3年終了時に卒業必要単位の3/4以上を修得見込みの者。なお、3年終了時に上記の基準が達成できていない場合には、合格を取り消します。
- 当研究科および受入予定の指導教員の許可を得た者

※⑤、⑥の出願資格の確認を希望する方は、出願期間初日より2ヶ月前までに、当研究科入試係に連絡してください。
（weee-ent@list.waseda.jp ）
事前連絡がない場合、出願は認められません。

※最終学歴が中国の大学の専科（3 年制）の場合には、上記⑤には該当しません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※当研究科が実施する各試験制度を併願することの可否については、当研究科入試係へ問い合わせてください。

３．入学検定料

35,000円

４．入学検定料の支払い方法

次のいずれかの方法で入学検定料を支払ってください。尚、支払手数料については、志願者負担となります。

コンビニエンスストアでの支払い

- 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」（https://e-shiharai.net/）にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『入学志願票』の所定欄に貼り付けて提出してください。支払い方法の詳細については、3ページの「早稲田大学コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照してください。
- 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23：00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23:30までとなりますので注意してください。

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。
※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当研究科まで連絡してください。

クレジットカード決済による支払い

- クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンより「インターネット上の支払いサイト」（https://e-shiharai.net/card/）にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
- 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、「写真票・入学検定料収納証明書」の所定欄に貼り付けて提出してください。支払い方法の詳細については、4ページの「早稲田大学クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法」を参照してください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。
※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

早稲田大学
コンビニエンスストアでの検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

❶ まずはパソコン、スマートフォンで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HPからもアクセスできます！

https://e-shiharai.net/

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

❷ コンビニでお支払い

●検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
●「収納証明書」には収納印は押印されません。（コンビニ払込時には収納印は不要です）

セブン-イレブン

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

●レジにて代金をお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。

LAWSON / MINI STOP

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppi へ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付（紫のボタン）
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

FamilyMart

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

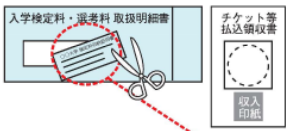
Famiポート へ
代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。
※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

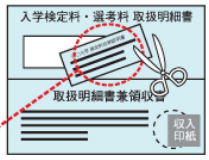
❸ 出　願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

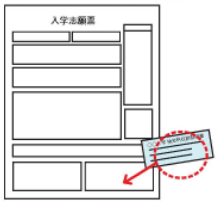
●セブン-イレブン
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



●ローソン　●ミニストップ　●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。



入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■注意事項

●出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
●支払最終日のシステム対応は23:30まで、「Webサイトでの申込み」は23：00までとなりますので、余裕をもってお支払いください。
●一度お支払いされた検定料は、一切返金できませんのでご注意ください。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。

事務手数料		
	検定料が5万円未満	432円
	検定料が5万円以上	648円

事務手数料は変更になる場合があります。

「検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお応えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

https://e-shiharai.net/

早稲田大学
クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK！これが簡単・便利なシンプルスタイル！

クレジットカード・銀聯カード・アリペイを
利用して検定料のお支払が可能です。

VISA MasterCard JCB AMERICAN EXPRESS UnionPay 銀聯 支付宝 Alipay.com

Web申込み～オンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/card/

携帯サイトの満20歳未満アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

当学HPからもアクセスできます！

1. トップページ	お支払い先（大学または大学院）を選択してください。
2. 学校選択	学校一覧から、「早稲田大学・大学院」を選択。
3. 学校案内	注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。
4. カテゴリ選択	第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力してください。 支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※American Expressの場合は15桁
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

↓

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

↓

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カード・アリペイの場合

それぞれの専用画面に推移します。
画面の指示に従って、支払いを完了してください。

↓

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する

出願

印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。

郵便局から
郵送にて出願。

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払可能です。支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カード・アリペイで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

検定料金額	事務手数料
～ 29,999円	555円
30,000円 ～ 49,999円	967円
50,000円 ～ 69,999円	1,420円
70,000円 ～ 99,999円	1,850円
100,000円 ～ 199,999円	2,037円
200,000円 ～ 299,999円	2,571円
300,000円 ～	4,320円

クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

5. 入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は早稲田大学環境・エネルギー研究科事務所入試係（TEL：0495-24-6217）までご連絡ください。

1）入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
2）入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
3）入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

6. 出願

入学検定料支払い、出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。

1）出願期間

提出方法	郵送(持参不可)
入学検定料支払い期間	2019年6月12日（水）～2019年6月18日（火）
出願書類提出期間	

2）出願書類提出方法

日本国内からの発送は消印有効とし、期間中の消印のない願書は一切受け付けません。日本国外から発送する場合は、2019 年 6 月 18 日必着とします。

①市販の角2号封筒（A4判が折らずに入る大きさ）を使用し、「簡易書留郵便」で郵送してください。また、出願締切日が間近な時は、「簡易書留郵便・速達便」で郵送してください。
②送付する封筒の表面に修士一般入試願書在中と朱書してください。
③出願書類受理証明書等は発行しませんので、出願者が郵便追跡サービス等で確認してください。

≪出願書類郵送先≫

〒367-0035
埼玉県本庄市西富田1011
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科　入試係

3）出願に必要な書類

Word文書として入力後、A4サイズ・片面で印刷し提出してください。手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。

	提出書類	様式	注意事項
①	志願票	所定用紙	a.※の箇所には記入しないでください。 b.指導教員の受入可能学生数には上限があります。希望指導教員欄には12～13ﾍﾟｰｼﾞを参照のうえ、希望順を算用数字で、8位まで必ず記入してください（9位以降の記入は任意です）。
②	写真票・入学検定料収納証明書	所定用紙	a.「入学検定料収納証明書」を、所定欄に貼付してください。 b.以下の全要件に合致する写真を貼付してください（入学手続の際、同じ写真が必要になります）。 • 縦4cm×横3cmの証明写真 出願前3ケ月以内に撮影したカラー写真（上半身・正面・無帽・無背景・枠なし） • マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。 • スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。

			• 証明写真ボックスで撮影されたスピード写真は受け付けますが、家庭等で撮影された写真は受け付けません。 • 裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に全面糊付けしてください。 • 提出された写真は、試験当日の本人確認や、入学後の学生証の写真として使用しますので、本人を判別できるような写真を用意してください。また、学内諸手続における本人確認、および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、予めご了承ください。
③	履歴書	所定用紙	a.学歴欄は、小学校から現在までの全ての学歴（科目等履修生も含む）を記入してください。記入欄が足りない場合は、学歴のみ別紙に記入して志願票と一緒に提出してください。 大学を卒業後、日本語学校等に在籍している、またはしていた方は、「その他学歴に関する特記事項」欄に、機関名、在籍期間を記入してください。 b.現住所欄に記載された住所宛に、受験票、合格者受験番号表、入学手続書類等を郵送しますので、必ず受け取ることのできる住所を正確に記入してください。 c.職歴欄は、現職の記入以外にも過去に職歴がある場合は、その概要を特記事項の欄に記載してください。
④	各種証明書	原本	卒業証明書（卒業見込みの方は卒業見込証明書）および成績証明書 • 必ず原本を提出してください。コピーは受理しません。 • 編入学している者は、編入学前の成績証明書も提出してください。 • 卒業見込証明書が発行されない場合は、在学証明書を提出してください。 • 証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文（英語または日本語）を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。 • 中国の大学を卒業した方は、证书编号が記載されている卒業証明書および学位取得証明書を提出してください。 • 中国の教育機関を卒業した方は、証明書の原本の他に、CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する英文の「学歴認証報告書」をCHESICCから環境・エネルギー研究科事務所（weee-nyusi@list.waseda.jp）へメールで直送されるよう手配してください。 ・詳細についてはCHESICCのWebサイトをご確認ください。 https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ ・必ず出願期間締切日までに本学へ「学歴認証報告書（英文版）」が届くよう、余裕を持って準備してください。 ・CHESICCから直接メールで届く「学歴認証報告書（英文版）」のみ有効とします。 • 飛び級入学試験志願者は、在学証明書および成績証明書、科目登録証明書、当研究科発行の受験許可書
⑤	修士課程入試面接票	所定用紙	学部のときに取り組んだ研究や志望理由、入学後の研究計画の概要等を記入してください。
⑥	受験承諾書	所定用紙	出願時に他大学の研究科または当学の他研究科に正規学生として在籍している場合は提出してください。
⑦	アンケート	所定用紙	今後の入試広報等の参考にさせていただきますので、必ず提出してください。なお、このアンケートは入学選考の対象外です。

⑧	英語能力証明書	原本	出願受付開始日から2年以内に受験した英語テストスコアレポートのみ有効です。提出可能な英語テストは以下の通りです。 a. TOEIC L&R b. TOEFL-iBT Official Score Report が試験実施団体から出願締切日までに当研究科事務所（Waseda University-Graduate School of Environment and Energy Engineering）へ直接送付されるように依頼してください。 TOEFL 団体ウェブサイトhttp://www.ets.org Official Score Report （TOEFL）の送付に必要なコード(Institution Code)は **C324** です。 Test Taker/Examinee Score Report（原本）を提出の上で、出願期間後に Official Score Report を追送することも可能です。この場合は出願書類に ETS から当事務所まで直送することを記載したメモを同封してください。 c. IELTS Academic ※コピーやインターネットのスクリーンショット等の提出は認めません
⑨	日本語能力試験または日本留学試験「日本語」の成績通知書 （外国籍者）	原本	日本語能力試験 N2 合格以上の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」、または日本留学試験の「日本留学試験成績に関する証明書」（原本） ※日本語能力試験合否結果通知書は提出しないでください。 上記試験を受験できなかった場合は、大学およびその他の日本語教育機関による、日本語能力に関する証明書または所見を提出してください。
⑩	留学にかかる経費負担計画書 （外国籍者）	所定用紙	•所定の用紙に、当学に留学する間の総費用（2年分の学費および生活費）をどのように負担するのかについて記入してください。 ※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 •経費負担計画書の「政府またはその他財団」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書（原本）を提出してください。日本語または英語で発行されていない奨学金受給証明書を提出する場合は翻訳文も提出してください。翻訳文の内容を証明する公証書の提出は不要です •日本に永住権のある場合は不要です。
⑪	パスポート （外国籍者）	コピー	顔写真が掲載されたページのコピーを提出してください。
⑫	住民票　または 在留カード （日本国内在住の外国籍者）	原本 コピー	a.「住民票」を提出する場合は、原本を提出してください。必ず「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間満了日」「在留カード等番号」が記載された住民票を提出して下さい。 b.「在留カード」を提出する場合は、表・裏両面のコピーを提出してください。

所定用紙は当研究科ホームページhttps://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/からダウンロードしてください。
※Wordで作成する場合は、書式を崩したりページを増やしたりしないでください。記載事項がない場合でも、項目を消去しないでください。

4）出願書類偽造についての注意事項

出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

7. 受験・就学上の配慮

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合わせください。

8. 受験票発送

・出願書類受理後、履歴書に記載された現住所宛に郵送します。試験日１週間前になっても受験票が届かない場合は、当研究科入試係に問い合わせてください。
・受験票に記載されている内容に誤りがある場合は、直ちに当研究科入試係に問い合わせてください。
・受験票は入学時に学生証と引き換えに回収しますので、入学まで大切に保管してください。

9. 選考

1）選考日程

第１次試験（筆記）	第２次試験（面接）
７月２１日（日）	７月２８日（日）
10:00～12:00	第１次試験当日に通知します

※筆記選考の開始 15 分前までに試験会場で着席してください。
※筆記選考の開始 20 分後からは試験会場に入室できません。
※面接選考の実施時間は筆記試験当日に「一般入試　第２次試験の実施について」を配布します。

2）選考方法

・第１次試験（筆記）と第２次試験（面接）により選考します。
・第１次試験受験者全員が第２次試験に進みます。

【第１次試験】

専門科目の筆記試験を実施します。
・3科目6題を出題します。6題の中から自由に2題を選択してください。
文系出身者が(1)工業熱学または(2)電磁気学・回路理論を、理系出身者が(3)環境・エネルギー政策等を選択しても構いません。
・(1)工業熱学または(2)電磁気学・回路理論を選択するときは、関数計算ができる電卓を使用できます。持参してください。ただし、プログラム機能のある電卓は、プログラムを消去してください。プログラムを消去していない場合は使用不可とします。
・筆記試験の過去問題は入学センターホームページhttps://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/past_test/で確認できます。

科目	出題範囲・内容
（1）工業熱学 （主に理系出身者用）	熱力学の第一法則と第二法則、各種熱力学サイクル、定常流れ系のエネルギー・エクセルギーバランス、蒸気・伝熱の基礎
（2）電磁気学・回路理論 （主に理系出身者用）	電界、磁界、電磁誘導、Maxwell 方程式、直流回路、交流回路、分布定数回路、回路の過渡現象
（3）環境・エネルギー政策等 （主に文系出身者用）	環境・エネルギー政策及びそれに関連する法制度、持続可能な発展のための企業・NPO・市民等の環境取組及びその普及に係る規格や認証システム　等

3)試験会場

第１次試験（筆記選考）	早稲田キャンパス　22号館または26号館
第2次試験（面接）	早稲田キャンパス　22号館6階

①第１次・第２次試験とも早稲田キャンパスで実施します（14ページ「案内図」参照）。
②試験教室（第１次・第２次試験とも）ならびに注意事項は、試験当日、会場に掲出します。

4）受験上の注意

① 試験場には、受験票、筆記用具、電卓を持参してください。電卓については、キーを押下すると音が鳴る場合は他の受験生の迷惑となりますので、事前に音を消しておいてください。
② 試験開始20分経過後の試験室への入場は一切認めません。
③ 欠席科目があった場合は，合否判定の対象外となります。

10. 不正行為について

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

当学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 次のことをすると不正行為となることがあります。
   ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど）。
   ②筆記試験において、使用を認められていない物品を使用すること。
   ③筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
   ④筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
   ⑤試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
   ⑥試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
   ⑦試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
   ⑧試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
   ⑨試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
   ⑩志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
   ⑪その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
   ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
   ・別室での受験を求めること。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
   ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
   ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。
   ※この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PHS・スマートウォッチ等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

11. 免責事項

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。

あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

①生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。

③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。

④他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

12. 合格発表

1）日程

2019年7月30日（火）

2）方法

受験者全員に対して、履歴書に記載された本人現住所宛に「合格者受験番号表」を郵送します。

※電話、E-mail等による合否に関する問い合わせには回答しません。

※合格者発表日の1週間後になっても合否結果通知書を受領していない場合は、当研究科入試係まで問

い合わせてください。

13. 入学手続

所定の期間内に入学手続料（入学金・学費・諸会費）の納入、入学手続き書類の提出および指示された所定の手続きのすべてを完了することにより、入学手続きが完了します。入学手続書類は、履歴書に記載された住所宛に郵送しますので、転居した場合は、必ず当研究科入試係に連絡してください。

2019年9月入学	入学手続書類交付	合否結果通知書に同封
	入学手続料振込期限	2019年8月26日（月）
	入学手続期間 （Web手続・書類提出）	2019年8月上旬～8月26日（月）（消印有効）
2020年4月入学	入学手続書類交付	2019年11月中旬頃
	入学手続料振込期限	2019年12月4日（水）
	入学手続期間 （Web手続・書類提出）	2020年2月3日（月）～2月21日（金）（消印有効）

※日本国外から発送する場合は、締切日必着とします。

14. 入学金免除

当大学、当大学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

15. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した入学金（登録料）、学費・諸会費（第一期分）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費（第一期分）のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

16. 外在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上記のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。
「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。

（1）「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の3か月前から手続きできます。在留期間更新手続に関する詳細は、 以下のウェブサイトを参照してください。
http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/studentstatus.html

（2）「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「（1）在留資格を有していない場合」を参照してください。

（3）「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続の必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続に関する詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。
http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/currentresidence.html

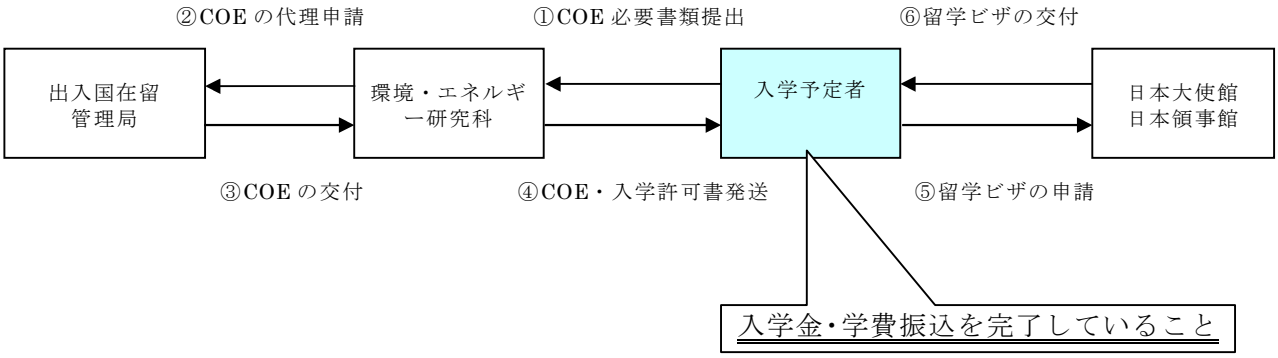
【注】在留期間更新許可申請書および在留資格変更許可申請書には、早稲田大学の押印のある書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を留学センター窓口（早稲田キャンパス22号館4階）に持参してください。

（4）在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。当研究科では所定の**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り、**本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。所定の書類が提出されない場合や書類に不備がある場合は、「在留資格認定証明書」の代理申請は行いません。代理申請後、COEが出入国在留管理局より当研究科に交付されましたら、申請者に入学許可書とともに郵送いたします。COEを受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COEの有効期限は3か月ですので、有効期間内にビザを取得し、渡日してください。COE代理申請書類の受取りから出入国在留管理局への代理申請、審査、COEの交付まで2～3か月程度を要しますので、すみやかに入学手続を行ってください。

【注】**・代理申請は、学費等振込を完了しないと行いません。**希望者は、すみやかに振込を済ませ、早急に代理申請手続を行ってください。

＜留学ビザ取得までの流れ(①→⑥)＞
※留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。
当研究科事務所にCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館、日本領事館へ連絡して、
おおよその所要日数を把握しておいてください。



（5） 在留資格の取得、変更（自己申請）
〈査証免除／短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合）で入国した場合、原則として、日本国内での資格変更は認められていません。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）で、新学期までに再度帰国が難しい場合は、志願者本人が東京出入国在留管理局でCOEの申請を行い、在留資格の取得が許可され証明書が発行されたら、資格変更手続を行ってください。ただし、例外的な受付となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。その際は、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

（6） その他注意事項

・当研究科が代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書（書式自由）とともに至急COEを当研究科へ返送してください。また、他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複

している場合、証明書は交付されません。
・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター(E-mail:cie-zairyu@list.waseda.jp)または当研究科(E-mail:weee-ent@list.waseda.jp)へ問い合わせてください。

17. 学費・諸会費

当研究科修士課程(2019 年 4 月入学者)の学費等は、以下のとおりです。2020 年度の学費等は、確定後、入学センターホームページに掲載されますので、下記 URL より確認してください。
http://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/

【参考】2019年4月入学者の初年度学費明細(参考)　(単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進互助会費、学期毎	合　計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
200,000	481,000 (入学時)	481,000	47,000 (入学時)	47,000	1,500	入学時 729,500 秋学期 529,500

【参考】2019年4月入学者の第2年度の学費明細(参考)　(単位:円)

年度	授業料		実験演習料		学生健康増進互助会費、学期毎	合　計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
第2年度	581,000	581,000	48,000	48,000	1,500	春学期 630,500 秋学期 630,500

※当大学、当大学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。
※学費等は改定されることがあります。
※上記表の学費等の他に、最終学年・最終学期に校友会費10年分(割引適用40,000円)が必要となります(本学学部出身者、編入学、一貫制博士課程、博士後期課程、科目等履修生、ダブルディグリーは対象外)。

18. 奨学金

奨学金制度については、奨学課のホームページhttps://www.waseda.jp/inst/scholarship/を参照してください。

19. 連絡先

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科入試係
〒367-0035　埼玉県本庄市西富田1011
電話:0495-24-6217
E-mail:weee-ent@list.waseda.jp
事務所開室時間:月曜～金曜　9:00～17:00
お問い合わせ・連絡は、E-mailでお願いいたします。

研究指導および担当教員

研究指導	担当教員	授与学位
環境調和システム機器研究	教　授　博士(工学)早大　関谷弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教　授　友成真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教　授　博士(工学)都立大中西要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教　授　博士(工学)早大　草鹿　仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教　授　博士(工学)早大　中垣隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教　授　博士(工学)早大　納富　信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教　授　博士(工学)早大　紙屋雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教　授　博士(工学)早大　小野田弘士	工学・学術
環境・エンジン制御研究	客員教授　福間　隆雄 教　授　草鹿　仁	工学

修士課程　研究指導内容

環境調和システム機器研究　　関谷弘志

地球環境問題やエネルギー問題への対応が急務とされる昨今、今後の持続的な人間社会の発展ならびに自然環境の維持・再生のためには、環境負荷低減に寄与する環境調和システム機器の研究開発が益々重要となっている。

これらの諸問題の解決策の一助として、外燃機関や自然冷媒を用いたシステム機器に着目し、その研究開発ならびに最適設計手法の構築を目指すとともに、省エネルギー・クリーンエネルギーに適した次世代分散発電、コージェネレーションおよび高性能冷凍空調への応用を試みる。また、同システム機器を核とする再生可能・未利用エネルギーの最適利活用や廃熱利用についても研究を実施する。

本研究指導においては、環境調和システム機器に関する研究課題の抽出から一連の修士論文研究について助言・指導を行う。

エネルギー・環境政策研究　　友成真一

エネルギー・環境問題は、広範な学問領域をカバーする、総合的な社会問題である。
エネルギー・環境問題を政策的に捉えようとする場合、表の論理と裏の論理を立て分けて整理する必要がある。
本研究指導では、エネルギー・環境政策の本質をえぐる目を養い、政策のもつ技術的、経済的、社会的、国際的、外交的側面に留意しつつ、各国にとって真に意味のあるエネルギー・環境政策を探求することを目的とする。

環境・エネルギーネットワークシステム研究　　中西要祐

産業及び経済の持続的な発展のためには電力をはじめとするエネルギーネットワークシステムの形成が不可決だが、これらは膨大なエネルギーの変換と輸送を伴うことから環境への影響も大きく、システムの効率化と環境保全対策の立案が重要課題である。ここでは、1. エネルギーの発生、輸送、配分、消費に係わるシステム技術、環境問題とその解決技術、2. 環境・エネルギーシステムの最適化、運用制御、経済及び環境影響評価、3. 構成要素の動特性モデリング及びシミュレーション解析といった工学的手段の習得を目的とする。

環境・パワーシステム研究　　草鹿　仁

現代の環境問題の多くは燃焼に起因するものであり，近年では種々の環境汚染化学物質が注目されている。今後は，このような環境汚染化学物質の生成・分解過程の解明に対する要求はより一層高まるものと考えられる。このような状況をふまえ、主に内燃機関、エンジンシステムを対象に化学反応により支配される燃焼現象及び有害排出物質の生成・分解過程を扱う。 さらに次世代のエネルギー変換システムである燃料電池とそれを応用したエンジンシステムについて研究する。

環境・エクセルギー工学研究　　中垣隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には，温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所を生かしたエクセルギー視点での環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

・再生可能エネルギーの有効利用に資するエネルギーストレージに関する研究
・二酸化炭素分離回収固定化技術（CCS）
・化学，電気化学的なエクセルギー再生技術と鉄鋼および工業炉への適用研究
・燃料電池，リチウムイオン電池などの内部の反応・輸送現象の解明と新たな作製方法の開発

俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち，確かな学力に基づく課題発見，解決力のある人材育成を目指す。

環境システム評価研究　　納富　信

エネルギー等の枯渇性資源の消費、生態系サービスへの過度な負荷を起因とする地球システムの環境システム容量の限界への懸念が大きく叫ばれる中、持続可能な社会を創り上げるためには、エネルギーならびに環境問題の解決が不可欠であり、それには新たな技術システムや社会システムなどの導入・普及対策が重要である。

特に、それらの対策が、現在から将来にわたる時間軸において発生する影響と社会全体に普及させた場合の効果を、時間的・空間的に予測、定量化して、適切な選択肢を与える評価手法の開発が求められている。

そこで本研究指導では、持続的な社会の営みに必要なエネルギーならびに環境システムを構築するのに必要な技術システム、社会的システムのあり方などを、環境面・経済面・社会面で評価する手法を研究し、それを適用することを通じて、課題・問題の所在の明確化、解決に向けた手法の考案、社会に貢献できるスキルとテクニックを開発・修得することを目指す。

環境・電気エネルギー研究　　紙屋雄史

近年、自動車の分野においても、いわゆる環境・エネルギー問題の克服がきわめて重要なテーマとなっており、関連する企業や研究者に対しては、内燃機関の一層の性能向上とともに、それに代わる新たな動力システムの研究開発が求められている。このような背景のもと、ここでは環境調和性に優れた電動車両（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、等）を対象とした研究指導を行なう。電動車両は、従来の自動車と比較して「温室効果ガス削減効果」「エネルギーシフト効果」「周囲環境負荷低減効果」「乗車環境改善効果」が極めて高い。しかし、主に「バッテリ」とバッテリへの「充電」に大きな技術的課題を抱えており、なかなか大量普及出来ない状態となっている。そこでここでは、車両本体の設計・製作・環境調和性評価と、これらに共通して搭載される機器類（バッテリ、モータ、充電システム等）の性能向上を図ることで、それぞれ固有の課題を解決すると同時に、共通の「バッテリ・充電問題」に対処していく。

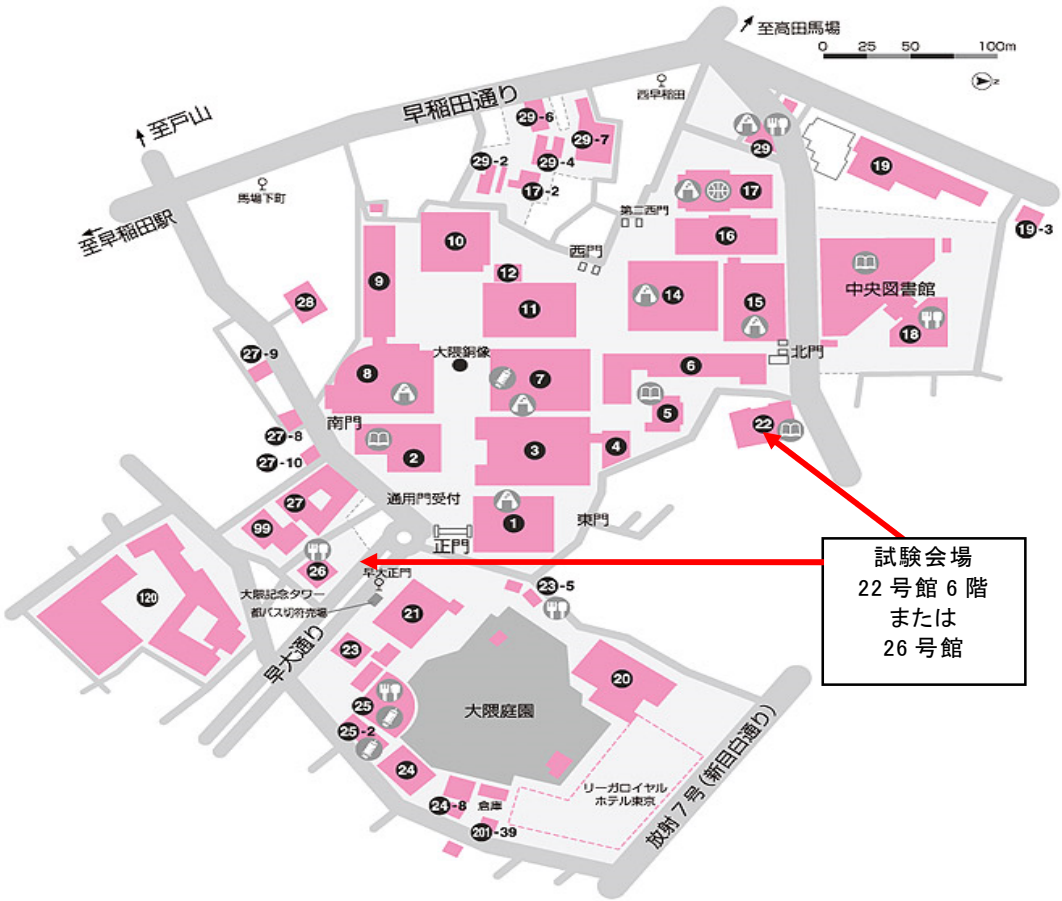
環境配慮エネルギー・循環システム研究　　小野田弘士

低炭素社会、循環型社会の構築に向けて、社会実装を念頭においた次世代型の社会システムの構築に資する技術・システムの開発に関する研究を展開している。ライフサイクル思考に基づくシステム工学的なアプローチを基軸としながら、社会受容性を考慮した学問領域統合型の視点を取り入れている。多様な産学官連携により、プロジェクトベース型の研究を展開していることも特徴である。研究分野は、スマートコミュニティ、次世代モビリティシステム、未利用バイオマス利活用技術・システム、再生可能エネルギー利用技術・システム、エネルギーマネジメントシステム、環境境配慮設計、LCA、資源循環および廃棄物処理技術・システム、ビジネスエコシステム等。

環境・エンジン制御研究　　福間　隆雄　・　草鹿　仁

本研究指導では、自動車用エンジンの吸気系、燃焼システム、排出ガス浄化触媒の機能を最大限に発揮するための制御手法を研究する。このため、構成要素をモデル化し、統合モデルを構築するとともに、同モデルを用いて各種運転パラメーターがエンジンの動力性能、排気性能に及ぼす影響因子を詳細に調査する。また、運転パラメータの最適制御手法についても検討を行う。このように机上で検討された制御手法を実機において検証し、モデルの修正をしながら高精度の予測モデルを構築することで突破力のある開発エンジニアを養成する。

試験場案内

早稲田キャンパス

◇ＪＲ山手線　　（高田馬場駅　徒歩20分）
　西武新宿線　　（高田馬場駅　徒歩20分）
◇東京メトロ　　（早稲田駅　徒歩5分）
◇都バス（学バス）（高田馬場駅 － 早大正門）
◇バス　　（新宿駅西口 － 早稲田）
　　（渋谷駅 － 早大正門）
　　（上野広小路 － 早稲田）
◇都電　　（三ノ輪橋駅 － 早稲田駅　徒歩5分）